

## わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(2月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎  
矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会委員長



### 『ライオンのながいいちにち』

あべ 弘士 作 / 出版社 佼成出版社  
読み聞かせ：幼児期から



本町で大変お世話になっています あべ弘士先生の絵本が初登場です。

ライオンの社会でも、私たち人間の社会でも生きる事は同じです。同じ環境にしながら、それぞれの役割があります。

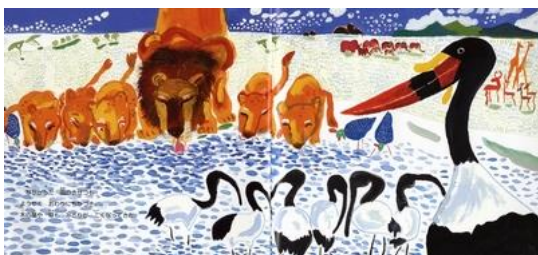
自然とふれあいながら、たくさんの出会いで学ぶと思います。“食いきれん”で終わりますが、ユーモアたっぷりの表現です。

家族で読んでみてください。

#### 内容のご紹介

雨季が過ぎた頃、ライオン親子が散歩に出かけます。途中、親子は、息を呑むほどのフラミンゴの群れと出会い、帰り道には、ヌーの大群に散歩をとおせんぼされるのでした。

俳句をたしなむライオンのお父さん、ヌーの大群列を前に「食いきれん」とは、手が出ないということでしょうか。妙にものしり顔で、おっとりしていて、好感を持ちました。アフリカの魅力満載の、シリーズ第3弾「ライオンのよいいちにち」(第1弾)、「ライオンのへんないちにち」(第2弾)のシリーズ二冊があります。



(中のページ)



「ライオンのよいいちにち」「ライオンのへんないちにち」  
(矢祭もったいない図書館)